

# 週報

日本キリスト教団

みなみやま

## 南山教会

### <年間聖句>

「あなたの未来には希望  
があると主は言われる」

(エレミヤ書31章17節)

### <年主題>

未来の希望を信じて歩む



Since 1947. 8. 1. 創立77周年

〒470-0111

愛知県日進市米野木町南山983-16

(愛知牧場内)

牧師 村山盛芳

伝道師 大塚 勁

信徒伝道師 大塚 椋

TEL 0561-73-6781 FAX 0561-76-3005

教会メールアドレス minamiyama@mb.ccnw.ne.jp

HP www.mb.ccnw.ne.jp/minamiyama/

先週の説教から

「故郷の言葉」

使徒言行録 2章1～11

ペンテコステは、教会の誕生日とも呼ばれ、聖霊が弟子たちに降り、彼らが他国の言葉で神の業を語り始めた出来事です。風と炎、そして言葉という象徴が登場し、目には見えないが確かに働く聖霊の力が表されています。

この時、弟子たちは自分たちでは話せなかった他国の言葉を話し、人々は「自分の故郷の言葉」で福音を聞いて驚きました。神の言葉は、どの時代にも、どの土地にも、その人にわかる言葉で届けられます。滋賀と愛知、尾張と三河、子どもと大人—違う言葉を話す私たちにも、神さまはそれぞれの言葉で語りかけてくださるのです。

神様は私たち一人ひとりの「わかる言葉」で語りかけてくださいます。臆病で逃げていたペトロが、群衆に向かって福音を語り始めたように、聖霊は私たちにも「語る力」を与えてくださいます。それは難しい言葉や特別な訓練によるものではなく、自分自身のことば、自分の歩みを通して、神の愛を語る事ができるということです。

私たちが今、日本語で聖書を読めるのも、福音が「わかる言葉」で語られるというペンテコステの恵みの延長です。聖霊は今も教会に働き、年齢も立場も異なる私たち一人ひとりを用いて、神の言葉を届けてくださいます。神はあなたにも「あなたの言葉」で語りかけ、あなたを通して福音を広げようとしておられます。 (大塚椋)

110115・木・15

日曜10時45分

11:15

副都心圏圏圏圏圏圏圏圏圏圏

前奏

頌栄 119 (米のまじり)

主の祈り

1回

聖書 17:1-8 (使徒言行録)

3～10節 (新約35:11)

讃美歌 475 (あめをよむ)

祈禱

同前

説教 「わかる言葉」

祈禱

同前

今週の誕生者のための祈禱

参拝者祝詞

讃美歌 497 (いのちのこゝろ)

献金 六五—

頌栄 117 (父の御名)

祝禱

後奏

… 報知 …

本日の福音箇所QRコードはこちら  
画面上で読み取ることができます。

